

**【表紙】**

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年5月14日

【四半期会計期間】 第11期第1四半期（自平成26年1月1日至平成26年3月31日）

【会社名】 株式会社モブキャスト

【英訳名】 mobcast inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藪 考樹

【本店の所在の場所】 東京都港区六本木六丁目8番10号

【電話番号】 03-5414-6830

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 原田 一進

【最寄りの連絡場所】 東京都港区六本木六丁目8番10号

【電話番号】 03-5414-6830

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 原田 一進

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第10期 第1四半期 連結累計期間	第11期 第1四半期 連結累計期間	第10期
会計期間	自平成25年1月1日 至平成25年3月31日	自平成26年1月1日 至平成26年3月31日	自平成25年1月1日 至平成25年12月31日
売上高 (千円)	1,302,910	1,107,326	5,179,104
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	110,438	149,801	404,044
四半期純利益又は当期純損失 ( ) (千円)	45,929	13,530	657,116
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	47,344	16,760	667,263
純資産額 (千円)	2,521,007	2,030,607	1,974,389
総資産額 (千円)	3,195,147	3,493,860	3,526,415
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額 ( ) (円)	3.44	0.97	48.34
潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益金額 (円)	3.40	0.95	-
自己資本比率 (%)	77.85	52.94	51.96

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第10期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。

4. 平成25年6月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割いたしました。当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当社は、平成26年2月19日開催の取締役会において、当社の100%子会社である株式会社モブキャストグローバルのPCオンラインゲーム事業について譲渡することを決議し、平成26年3月1日付で譲渡が完了しております。

事業譲渡の詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（企業結合等関係）」に記載のとおりであります。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

モバイルインターネット市場は、スマートフォンの急速な普及により、人々が日常的にインターネットに接触する機会が増加し、インターネットは生活インフラに近づきつつあります。これに伴い、SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）の利用者も急拡大しております。

このような事業環境の下、当社は、前連結会計年度に引き続き、自社運営モバイルスポーツメディア「mobcast」の機能強化と、モバイルソーシャルゲームの開発及び運営に取り組みました。

自社開発ゲームコンテンツとして、「モバプロ 2014年度版」の配信を開始いたしました。外部ディベロッパー製ゲームコンテンツとしては、株式会社Genterprise製「デコトラキング」、株式会社ジー・モード製「競馬物語～ダービーマイスター～formobcast」、株式会社ヘッドウォータース製「ぐるめコレッタ」、ジグノシステムジャパン株式会社製「激闘！！プロレスカードバトル」、株式会社enish製「ドラゴンタクティクス」及び株式会社クリーク・アンド・リバー社製「RAVEアルティメットバトル」の配信を開始いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高は前年同期と比較し195,583千円減少し1,107,326千円（前年同期比15.0%減少）、営業利益は前年同期と比較し54,902千円増加の165,069千円（同49.8%増加）、経常利益は前年同期より39,363千円増加し149,801千円（同35.6%増加）となりました。

なお、営業外収益として受取利息1,229千円等、営業外費用として為替差損8,147千円、株式交付費6,018千円等を計上いたしました。また、特別利益として、平成26年2月15日付で、mobcast Korea inc. 運営のPCオンラインゲームタイトル「アンライト」を、当社グループの事業領域の集中のため、Glitter inc. へ譲渡を行い、売却益24,050千円を計上しております。加えて、平成26年3月1日付で株式会社モブキャストグローバルのPCオンラインゲーム事業を、当社グループの事業領域の集中のため、Funnel Malaysia Sdn Bhdへ譲渡し、売却益20,814千円を計上いたしました。一方、特別損失として、連結子会社保有ゲームの配信停止に伴う固定資産除却損53,789千円、課金を停止したゲームタイトルの帳簿価額の切り下げ等による減損損失18,293千円、終了したタイトルに係る前払いの保証料償却によるその他特別損失12,477千円を計上、また、法人税等調整額84,159千円等を計上した結果、四半期純利益は前年同期より32,399千円減少し、13,530千円（同70.5%減少）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

##### （資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より32,554千円減少し3,493,860千円となりました。主な増加は、「現金及び預金」297,688千円、主な減少は「売掛金」95,214千円、「のれん」53,296千円であります。

##### （負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より88,772千円減少し、1,463,253千円となりました。主な増加は、「短期借入金」100,001千円、主な減少は「1年以内返済予定の長期借入金」30,752千円、「未払金」108,289千円であります。

##### （純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末より56,217千円増加し2,030,607千円となりました。その主な要因は、「新株予約権」の増加39,132千円、「利益剰余金」の増加13,530千円であります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	45,500,000
計	45,500,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期連結会計期間 末現在発行数(株) (平成26年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年5月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,891,808	13,891,808	東京証券取引所 マザーズ	権利内容に何ら限定 のない当社における 標準となる株式であ り、単元株式数は、 100株であります。
計	13,891,808	13,891,808	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成26年5月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年1月1日～平成26 年3月31日(注)	5,000	13,891,808	325	695,968	-	529,517

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載できないことから、直前の基準日（平成25年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,300	13	
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,883,300	138,833	完全議決権株式であり、権利内容に何ら制限のない当社における標準となる株式であります。 なお、1単元の株式数は、100株であります。
単元未満株式	2,208		
発行済株式総数	普通株式 13,886,808		
総株主の議決権		138,846	

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
B Dash Fund 1号 投資事業有限責任組合	東京都港区	-	1,300	1,300	0.01%
計		-	1,300	1,300	0.01%

(注) 他人名義で所有している理由等

当社が出資している「B Dash Fund 1号投資事業有限責任組合」が保有している株式のうち、当社持分相当であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人A & Aパートナーズによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	768,021	1,065,709
売掛金	598,304	503,089
その他	592,615	464,376
貸倒引当金	1,029	803
流動資産合計	1,957,912	2,032,372
固定資産		
有形固定資産	74,558	68,648
無形固定資産		
のれん	721,017	667,721
その他	442,288	392,667
無形固定資産合計	1,163,306	1,060,389
投資その他の資産	330,638	332,449
固定資産合計	1,568,502	1,461,488
資産合計	3,526,415	3,493,860
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	300,001	400,002
1年内返済予定の長期借入金	250,012	219,260
未払金	415,882	307,592
未払法人税等	290	340
賞与引当金	51,114	22,647
その他	118,400	131,895
流動負債合計	1,135,700	1,081,738
固定負債		
長期借入金	408,345	375,014
退職給付引当金	7,980	6,501
固定負債合計	416,325	381,515
負債合計	1,552,026	1,463,253
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	695,643	695,968
資本剰余金	646,447	646,447
利益剰余金	502,124	515,654
自己株式	1,645	1,645
株主資本合計	1,842,570	1,856,425
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	10,147	6,917
その他の包括利益累計額合計	10,147	6,917
新株予約権	141,966	181,099
純資産合計	1,974,389	2,030,607
負債純資産合計	3,526,415	3,493,860



## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,302,910	1,107,326
売上原価	485,858	589,661
売上総利益	817,052	517,664
販売費及び一般管理費	706,885	352,595
営業利益	110,166	165,069
営業外収益		
受取利息	-	1,229
為替差益	5,671	-
その他	537	306
営業外収益合計	6,209	1,535
営業外費用		
為替差損	-	8,147
投資事業組合運用損	1,275	-
株式交付費	3,011	6,018
撤退事業関連損失	1,265	-
その他	384	2,637
営業外費用合計	5,938	16,803
経常利益	110,438	149,801
特別利益		
事業譲渡益	-	44,864
特別利益合計	-	44,864
特別損失		
減損損失	-	18,293
固定資産除却損	11,886	53,789
事務所移転費用	12,155	-
その他	-	12,477
特別損失合計	24,041	84,560
税金等調整前四半期純利益	86,396	110,106
法人税、住民税及び事業税	1,709	12,417
法人税等調整額	38,758	84,159
法人税等合計	40,467	96,576
少数株主損益調整前四半期純利益	45,929	13,530
四半期純利益	45,929	13,530

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	45,929	13,530
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,415	3,229
その他の包括利益合計	1,415	3,229
四半期包括利益	47,344	16,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,344	16,760

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
投資その他の資産	6,300	6,300

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
減価償却費	20,959千円	82,821千円
のれんの償却費	7,670	10,612

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

当社は、モバイルスポーツメディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

当社は、モバイルスポーツメディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(事業分離)

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

funnel Malaysia Sdn Bhd

(2) 分離した事業の内容

当社の100%子会社である株式会社モブキャストグローバルのPCオンラインゲーム事業

(3) 事業分離を行った主な理由

当社は、平成25年2月1日に株式会社エンタークルーズ(現株式会社モブキャストグローバル)を完全子会社化して以来、従来から取り組んでおりましたモバイル向けのエンターテインメントコンテンツの開発・運営に加え、PCオンラインゲームの運営を行い、ユーザー層の拡大を進めてまいりました。当社グループでは、経営資源をモバイルエンターテインメント事業に集中し、収益力向上を図るべく、本事業譲渡を決定いたしました。

(4) 事業分離日

平成26年3月1日

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする事業譲渡

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

20,814千円

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産 - 千円  
固定資産 57,274千円  
資産合計 57,274千円  
流動負債 - 千円  
負債合計 - 千円

(3) 会計処理

移転したPC事業に関する投資は精算されたものとみて、移転したことにより受け取った対価となる財産の時価と、移転した事業に係る資産相当額及び移転に係る費用との差額を移転損益として認識しております。

(4) 分離した事業が含まれていた報告セグメント

モバイルスポーツメディア事業

(5) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

	累計期間
売上高	44,483千円
営業利益	11,747

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	3円44銭	0円97銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	45,929	13,530
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	45,929	13,530
普通株式の期中平均株式数(株)	13,320,992	13,888,809
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	3円40銭	0円95銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	149,743	232,493
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 平成25年6月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割いたしました。当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

1. 株式会社モブキャストグローバルの吸収合併

当社は、意思決定のスピードを上げ、機動性を向上させ、海外展開を加速させることを目的とし、平成25年11月1日開催の取締役会において、株式会社モブキャストグローバルと合併することを決議しました。また、同日付で両社は合併契約を締結し、株式会社モブキャストについては平成26年3月26日の定時株主総会において当該合併議案を承認、株式会社モブキャストグローバルについては会社法第784条第1項に基づき株主総会の承認決議を経ずに合併を決定しております。

合併の概要は、次のとおりであります。

(1) 合併の方法

当社を親会社とし、株式会社モブキャストグローバルを消滅会社とする吸収合併であります。

(2) 合併の効力発生日

平成26年4月1日

(3) 引継資産・負債の状況

当社は、吸収合併の効力発生日において、平成26年3月31日現在の貸借対照表を基礎とし、株式会社モブキャストグローバルの資産、負債及び権利義務の一切を承継いたしました。

(4) 合併に際して発行する株式及び割当

当社100%出資の連結子会社との合併であるため、本合併による新株式の発行及び資本金の増加並びに合併交付金の支払いはありません。

(5) 吸収合併存続会社となる会社の概要

商号：株式会社モブキャスト

資本金：695,643千円

事業内容：モバイルスポーツメディア事業

2. 第三者割当による新株予約権の発行

当社は、平成26年3月12日開催の取締役会決議に基づき、平成26年4月2日付で、大和証券株式会社を割当先とする第20回乃至第22回行使価額修正条項付き新株予約権の発行を行っております。

なお、同日付で新株予約権の発行価額総額の払込が完了し、割当を行っております。

第20回乃至第22回行使価額修正条項付き新株予約権の内容は、以下のとおりです。

	第20回新株予約権	第21回新株予約権	第22回新株予約権
新株予約権個数	5,000個	5,000個	5,000個
新株予約権の目的である株式の数	500,000株	500,000株	500,000株
新株予約権1個あたりの発行価額	1,110円	550円	400円
当該発行による潜在株式数	1,500,000株 上限行使価額はありませぬ。 下限行使価額は676円ですが、下限行使価額においても潜在株式数は1,500,000株です。		
資金調達額(差引手取概算額)	2,851,250,000円		
当初行使価額	1,062円	1,737円	2,895円
行使可能期間	平成26年4月3日から平成28年4月1日		
割当先	大和証券株式会社		
資金使途	モバイルプラットフォーム「mobcast」の機能拡充並びにコミュニケーションツールの開発にかかる人件費及び採用費 ネイティブアプリの開発体制の構築並びに運営にかかる人件費及び採用費 ネイティブアプリ及びブラウザゲームにかかる国内外の知的財産権の取得費用 ネイティブアプリ及びブラウザゲームにかかる国内外の広告・マーケティング費用		

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年5月7日

株式会社モブキャスト  
取締役会 御中

監査法人A & Aパートナーズ

指定社員 公認会計士 齊藤 浩司 印  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 加賀美 弘明 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社モブキャストの平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社モブキャスト及び連結子会社の平成26年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。